

平成30年3月30日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

| | |
|-----|---|
| 標 題 | 平成30年米政策見直し以降の水田農業を考えるための 現地事例集「出雲水田農業モデル」を策定！ |
|-----|---|

(ダイジェスト)

出雲地方水田農業持続・発展モデル育成プロジェクトでは、この度、現地事例集「出雲水田農業モデル」を策定しました。出雲市内で水田農業に取り組む個別経営体や集落営農組織の多くの事例から5つを選抜して事例をとりまとめました。今後、水田農業関連指導などで活用し、管内への波及効果をねらうこととしています。

出雲市の農業の大宗を占める水田農業を安定して継続していくことは、農業・農村の持続的な発展はもとより、自然環境を保全するなど多面的機能の発揮に繋がるものですが、最近の米価下落や平成30年からの米政策見直しを鑑み、水田農業の経営は以前にも増して厳しい状況にあります。

そこでこの度、島根県東部農林振興センター、出雲市、JAしまね等の関係機関が、出雲市内で立地条件や特色等を活かしながら、水田農業の先駆的な取り組みを行っている経営体の事例等を調査・整理して5つのモデル経営体をまとめた冊子「出雲水田農業モデル」を策定しました。

水田農業に取り組む個別経営体や集落営農組織等の関係者にこのモデルを参考にいただき、できるところから具体的な行動に移されることをお勧めしています。創意工夫を活かした特色ある経営を展開し水田農業の持続的発展を目指していただく一助となれば幸いです。

- 1 モデル類型1：50ha以上の大規模法人
 「大規模若手専従者雇用型法人」 (株) 勝部農産 (出雲市斐川町)
 - ・水田フル活用による農地の有効利用 (2年3作体系による169%の耕地利用率)
 - ・社会保障の充実等による雇用環境の整備 (若い農業者を雇用し働きやすい環境の整備)
- 2 モデル類型2：土地利用型作物ブロックローテーション+園芸作物
 「水田高度利用型集落営農組織」 (農) 上直江ファーム (出雲市斐川町)
 - ・土地利用型作物+土地利用型園芸作物 (水稻を中心とした経営に玉葱・キャベツ)
 - ・特色ある栽培を中心とした水稻栽培 (特別栽培米や学校給食米などこだわった栽培)
- 3 モデル類型3：家族経営タイプ・地域ぐるみタイプ
 「ファミリー型経営体」 (農) みんな (出雲市口宇賀町)
 - ・多角化経営を実践 (米とならぶ収益部門を検討⇒米+ブロッコリー等で周年栽培を実現)
 - ・周年雇用を確保 (定年退職者3名の専従体制と女性8名が作業参加⇒組織内周年雇用確保)
- 4 モデル類型4：小規模集落営農組織の連合体 (組織ぐるみ、地域ぐるみ)
 「広域連携型法人」 (株) 未来サポートさだ (出雲市佐田町)
 - ・集落営農の二階建方式の採用により地域でオペレーター育成・周年雇用へ取り組む。
 - ・農産物の生産・加工・直売を含む販売に一貫して取り組み、地域内の6次産業化を推進
- 5 モデル類型5：水田放牧による耕畜連携の取り組み
 「水稻+水田放牧等複合型集落営農組織」 (農) ひむろの郷 (出雲市斐川町)
 - ・耕畜連携による収益性のある転作作物の確立 (転作作物への取り組みと畜産農家)
 - ・余剰労力活用による園芸作物等の経営多角化 (たまねぎ、さつまいも栽培など)